



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 東
 コード番号 6633 URL http://www.cgsys.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 聖一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部部长 (氏名) 大野 聡太郎 (TEL) 03(6864)0777
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,904	8.4	233	△2.7	248	△10.5	207	12.8
25年12月期第3四半期	2,679	4.8	240	65.5	277	62.1	184	32.6

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 211百万円(△6.9%) 25年12月期第3四半期 227百万円(26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	18.81	—
25年12月期第3四半期	16.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	4,266	2,499	58.2
25年12月期	3,935	2,394	59.6

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 2,480百万円 25年12月期 2,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年12月期	—	0.00	—		
26年12月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,614	△1.9	244	△10.1	254	△17.1	192	△0.4	17.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	11,982,579株	25年12月期	11,982,579株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	937,250株	25年12月期	937,250株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	11,045,329株	25年12月期3Q	11,045,446株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資を中心に設備投資が伸長、自動車等の輸出関連業が円安を背景に堅調に推移するなど、持ち直し傾向にあるものの、個人消費は、引続き消費税増税後の反動を受け、低調に推移いたしました。

世界経済につきましては、米国経済が好調、また中国・アセアン地域経済も緩やかに回復しているものの、韓国がウォン高等の影響で依然として低調に推移しております。このほかウクライナ問題、中東における紛争の激化等、世界経済への影響が懸念される多くの不安定要素を抱えており、予断を許さない状況となっております。

当社の主要顧客である金型関連業においては、設備投資の先行指標となる工作機械受注統計（日本工作機械工業会）によれば、内需が好調に推移しており、うち金型向け工作機械は、8月に前年同月を下振れたものの、9月までの累計は前年同期比7.9%増と堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、国内外でイベントおよびセミナーに出展し当社製品の販促活動に努めたほか、既存ユーザに対しては保守契約の再加入を促進いたしました。また研究開発においては、プレス金型向けCAD「CG PressDesign」およびモールド金型向けCAD「CG MoldDesign」機能改良版を8月にリリースいたしました。加えて、当社CAD/CAMシステムの他社へのOEM提供およびその他新規事業については、新たな収益の柱とすべく、複数の案件について継続して研究開発を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高29億4百万円(前年同四半期比8.4%増)、営業利益2億33百万円(前年同四半期比2.7%減)、経常利益2億48百万円(前年同四半期比10.5%減)、四半期純利益2億7百万円(前年同四半期比12.8%増)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(CAD/CAMシステム等事業)

国内CAD/CAM販売は、第2四半期以降、消費税増税駆け込み需要による反動減が7月まで継続したものの、その後製造業の設備投資意欲の回復を背景に、前年同期と比較して製品販売が好調に推移いたしました。特に中部地区が大きく伸長いたしました。また海外ではアセアン地域でのローカル企業向け販売が伸長した一方、タイの政情不安および韓国の市況悪化に加え、北米で利益率が悪化していることなどから、前年同期と比較して業績は低調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におけるCAD/CAMシステム等事業の売上高は25億92百万円(前年同四半期比11.2%増)、セグメント利益は2億47百万円(前年同四半期比17.6%増)となりました。

(金型製造事業)

北米を拠点に展開している金型製造事業においては、概ね当第3四半期において納品予定であった案件の売上が第4四半期にずれこんだことから、第2四半期までの赤字をカバーするに至らず、前年同期と比較して減収減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における金型製造事業の売上高は3億11百万円(前年同四半期比10.5%減)、セグメント損失は14百万円(前年同四半期は29百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3億31百万円増加し、42億66百万円となりました。主な増加要因は現金及び預金2億11百万円、受取手形及び売掛金40百万円およびたな卸資産85百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して2億26百万円増加し、17億66百万円となりました。主な増加要因は前受金2億50百万円および賞与引当金40百万円、主な減少要因は買掛金39百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して1億4百万円増加し、24億99百万円となりました。主な増加要因は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加2億7百万円、主な減少要因は配当金の支払による利益剰余金の減少77百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、当第1四半期には、消費増税前の駆け込み需要により国内向けCAD/CAM販売が伸長、第2四半期に需要が一服したものの、今夏以降の製造業の設備投資意欲回復を背景に、引続き国内向けCAD/CAMシステム販売が好調に推移し、これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益の進捗率は、対業績予想では96%、対前年度では86%と、高いものとなっております。

この状況を踏まえ、平成26年2月14日に公表いたしました平成26年12月期の業績予想の修正についても検討いたしましたが、期末時点での繰延税金資産の再計上額を精査しており、その数値が未確定であることから、現時点での修正は見送ることいたしました。今後通期業績予想の見通しがより明確になった時点で、修正が必要となった場合は、すみやかに開示させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,874,366	2,086,113
受取手形及び売掛金	630,661	670,999
たな卸資産	52,814	137,819
その他	173,222	161,475
貸倒引当金	△2,542	△2,417
流動資産合計	2,728,522	3,053,989
固定資産		
有形固定資産	269,300	253,879
無形固定資産	17,994	10,944
投資その他の資産		
投資有価証券	24,345	24,313
投資不動産(純額)	443,060	434,819
その他	488,605	518,064
貸倒引当金	△36,818	△29,936
投資その他の資産合計	919,192	947,260
固定資産合計	1,206,488	1,212,085
資産合計	3,935,011	4,266,074
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,581	69,419
短期借入金	11,480	-
未払法人税等	42,348	20,729
賞与引当金	-	40,185
前受金	490,569	740,687
その他	169,169	127,997
流動負債合計	822,147	999,019
固定負債		
退職給付引当金	520,814	557,095
役員退職慰労引当金	102,345	110,095
その他	95,517	100,750
固定負債合計	718,677	767,942
負債合計	1,540,825	1,766,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	546,464	546,464
利益剰余金	1,492,357	1,622,779
自己株式	△209,146	△209,146
株主資本合計	2,329,675	2,460,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,691	1,883
為替換算調整勘定	13,101	18,944
その他の包括利益累計額合計	14,793	20,827
少数株主持分	49,716	18,188
純資産合計	2,394,185	2,499,113
負債純資産合計	3,935,011	4,266,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,679,139	2,904,333
売上原価	991,016	1,088,575
売上総利益	1,688,123	1,815,757
販売費及び一般管理費	1,448,086	1,582,259
営業利益	240,037	233,498
営業外収益		
受取利息	4,856	1,434
受取配当金	130	171
不動産賃貸料	61,911	60,944
債務保証損失引当金戻入額	4,166	-
貸倒引当金戻入額	-	4,651
その他	24,413	3,164
営業外収益合計	95,478	70,365
営業外費用		
支払利息	1,357	284
不動産賃貸費用	56,193	54,670
その他	-	131
営業外費用合計	57,550	55,085
経常利益	277,965	248,778
特別利益		
固定資産売却益	1,366	694
投資有価証券売却益	414	-
会員権売却益	-	66
リース解約益	308	-
固定資産受贈益	74	-
特別利益合計	2,163	761
特別損失		
固定資産除却損	5,203	40
投資有価証券売却損	958	17
特別損失合計	6,161	57
税金等調整前四半期純利益	273,967	249,482
法人税、住民税及び事業税	65,526	45,541
法人税等調整額	5,132	539
法人税等合計	70,659	46,080
少数株主損益調整前四半期純利益	203,307	203,401
少数株主利益又は少数株主損失(△)	19,094	△4,337
四半期純利益	184,213	207,739

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	203,307	203,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	316	191
為替換算調整勘定	23,706	8,043
その他の包括利益合計	24,022	8,234
四半期包括利益	227,330	211,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,051	213,773
少数株主に係る四半期包括利益	25,278	△2,137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,331,305	347,834	2,679,139	—	2,679,139
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,331,305	347,834	2,679,139	—	2,679,139
セグメント利益	210,708	29,328	240,037	—	240,037

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,592,847	311,485	2,904,333	—	2,904,333
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,592,847	311,485	2,904,333	—	2,904,333
セグメント利益又は 損失(△)	247,709	△14,210	233,498	—	233,498